

平成28年度第3回人間文化研究機構教育研究評議会 議事概要

○日 時：平成28年11月16日（水） 14:00～15:55

○場 所：国文学研究資料館大会議室

○出席者：立本議長、荒木、稲賀、今西、大塚、影山、木部、久留島、小長谷、小松、佐藤（洋）、須藤、谷口、寺島、西尾、野家、平川、藤尾、三田村、吉田の各評議員

○陪席者：大崎機構長特別顧問、小池事務局長

○事務局：監査室長、歴博管理部長、国文研管理部長、国語研管理部長、日文研管理部長、地球研管理部長、民博管理部長、本部事務局総務課長、同企画課長、同財務課長、同施設課長、同企画課課長補佐、同財務課課長補佐、その他関係職員

○概 要：
事務局から、定足数を満たしている旨の報告及び配付資料の確認があった。

議 題：

（議事概要）

（1）平成28年度第2回議事概要について（資料1）

機構長から、平成28年度第2回教育研究評議会議事概要について、議事概要署名人に確認いただいた旨報告があり、本評議会の同意を得た。

また、平成28年度第3回教育研究評議会の議事概要署名人として、今西評議員及び野家評議員が選出された。

（審議事項）

（1）第3期中期目標期間における評価体制の整備について（資料2）

小長谷理事から、資料2に基づき、第3期中期目標期間における評価体制の整備について説明があり、審議の結果、了承された。

また、機構長から、新たに設置する人文機構評価委員会委員のうち、教育研究評議会及び経営協議会の外部委員から選出する委員について、本日の会議で候補者を選出したい旨説明があり、酒井評議員が選出された。

（2）国文学研究資料館次期館長の選考について（資料3）

機構長から、資料3に基づき、国文学研究資料館長が平成29年3月31日限りで任期が満了することに伴い、当該機関運営会議から次期館長の推薦があった旨説明があり、各評議員への意見聴取が行われた。

なお、次期館長候補者の業績一覧において英文による著作はないのかとの質問があり、国文研館長の資質として必要な業績を評価し、英文による著作は選考の対象としていなかった旨回答があった。

（3）国立国語研究所次期所長の選考について（資料3）

機構長から、資料3に基づき、国立国語研究所長が平成29年9月30日限りで任期が満了することに伴い、当該機関運営会議から次期所長の推薦があった旨説明があり、各評議員への意見聴取が行われ

た。

（4）国立民族学博物館次期館長の選考について（資料3）

機構長から、資料3に基づき、国立民族学博物館長が平成29年3月31日限りで任期が満了することに伴い、当該機関運営会議から次期館長の推薦があった旨説明があり、各評議員への意見聴取が行われた。

なお、大学共同利用機関法人として重要なこの時期において、新たな3機関の長を迎えるに当たっては、スムーズな運営を行うためにも、機構としてサポートしていく必要があるのではないかとの意見があった。

（5）年俸適用者の業績評価について（資料4）

平川理事から、資料4に基づき、年俸適用者の業績評価について説明があり、審議の結果、了承された。

また、本件に関し、以下の意見等があった。

- ・年俸適用者に対し、業績評価の結果に関する不服申立ての機会が必要ではないか。
- ・「業績評価の結果は、年俸適用者の給与に反映させる」との表現は、「反映させることがある」程度で良いのではないか。

（報告事項）

（1）平成27年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（資料5）

小長谷理事から、資料5に基づき平成27年度に係る業務の実績に関する評価の結果について報告があった。

（2）「人間文化研究機構情報発信ポリシー」の策定について（資料6）

佐藤理事から、資料6に基づき、人間文化研究機構情報発信ポリシーの策定について報告があった。

（3）国立民族学博物館展示室の失火に関する調査結果及び対応等について（資料7）

平川理事から、資料7に基づき、国立民族学博物館展示室の失火に関する調査結果及び対応等について報告があった。

（4）平成29年度概算要求について（資料8）

平川理事から、資料8に基づき、平成29年度概算要求について報告があった。

（5）総合人間文化研究推進センターにおける実施事業の進捗状況について（資料9）

機構長から、資料9に基づき、総合人間文化研究推進センターにおける実施事業の進捗状況について報告があった。

（6）総合情報発信センターにおける実施事業の進捗状況について（資料10）

機構長から、資料10に基づき、総合情報発信センターにおける実施事業の進捗状況について報告があった。

（7）人間文化研究機構と海外研究機関等との連携について（資料11）

機構長から、資料11に基づき、本機構とフランス社会科学高等研究院、国際交流基金パリ日本文化会館及びモンゴル科学アカデミーとの連携について報告があった。

（8）研究教育職員の人事異動について（資料12）

総務課長から、資料12に基づき、平成28年上半年の研究教育職員の人事異動について報告があった。

（9）平成28年度人間文化研究機構教育研究評議会開催日程等について（資料13）

機構長から、資料13に基づき、平成28年度教育研究評議会開催日程及び企画戦略会議の開催状況に

ついて報告があった。

(10) 国文学研究資料館及び国立国語研究所 視察後の意見交換について

教育研究評議会の開催前に実施した国文学研究資料館及び国立国語研究所の視察について、意見交換が行われ、以下のような意見があった。

- ・実際に見てみることで、基礎研究が着実に行われていることを実感することができた。また、近隣施設と連携した一般公開を行うことで、理解が深まる機会となり、より存在意義が高まってくるのではないかと。
- ・テレビなどでも不自然な日本語を聞く機会が多くある。国立国語研究所には正当な日本語とはどういふものか発信してほしい。
- ・国文学研究資料館におけるフロンティア事業及び国立国語研究所におけるコーパスにおいても、限られた予算の中で実施・運営されている努力が見受けられるが、今後より研究を進展させるためには十分な予算措置が必要だと思われる。

(11) その他

小長谷理事から、平成27年度に係る業務の実績に関する評価の結果について、補足説明があり、今後、人文機構として、人文系の基礎的な研究の価値を十分に伝わるよう発信して行きたい旨発言があった。

以上、この教育研究評議会議事概要を確認し、以下に署名捺印する。

平成29年1月17日
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

署名人 評議員 _____
今西 祐一郎

署名人 評議員 _____
野家 啓一